

この製品は耳きりしてありますので、開封後は汚れた床面に置かないでください。

三中ぐらい施工後、問題のないことを確かめて作業にかかって下さい。

(明らかに商品に欠陥が見られる場合は、当社までご連絡をお願いいたします。)

当製品のジョイントは、突きつけ施工です。幅調整は壁面端部にてお願いいたします。

**特に入り隅での現場カットを伴うジョイントは避けてください。**(合裁ち(重ね切り)は不可)

**オープンタイム 5分~15分(付けだめ禁止)**

施工中、ガラスビーズが若干落ちることがありますが、意匠的には影響はありません。

(施工前、端部のビーズの脱落にはご注意ください。)

**施工中ガラスビーズが裏面に残っていないか遠目から随時確認してください。**

**ガラスビーズが裏面に残っている場合は速やかに取り除いてください。**

ローラーはウレタン製の広幅ローラーをご使用ください。**(金属ローラーは使用不可)**

## 1. 下地処理

下地は、下地と同色の仕上げパテを使用し、平滑に仕上げてください。

湿式下地(コンクリート・モルタル等)や、パテ・シーラーを施した場所では、十分に乾燥している事を確認してから施工を開始して下さい。

湿気を帯びていると壁紙の変色、カビ、フクレの発生を招く事があります。

下地が、コンクリート・モルタル、ベニヤ、合板、金属他の場合は、必ず下地別のシーラーを塗布して下さい。

シーラーは壁紙と下地の間に皮膜を形成し、下地からのアクによる壁紙の変色を防止します。

ケイカル板・粉ふき下地・ペンキ下地・パーテーション等の接着性の悪い下地は、必ず下地別のシーラーを塗布して下さい。

シーラーは下地を補強し、壁紙のハガレを防ぎます。

## 2. 接着剤

製品重量が重い為、固めの糊を使用し、塗布量を多め(目安150~170g/m<sup>2</sup>)にし、付けだめはしないで下さい。

## 3. オープンタイム

裏打紙にフリースを使用しておりますので、糊塗工後に製品の伸びが殆んどありません。

糊塗工後、5~15分程度で壁紙が軟らかくなりますので、速やかに施工を行ってください。

## 4. たたみじわ

折れじわ・粒取れの原因となりますので、壁紙をきつくとたんだり、湾曲部を強く押さえないようにして下さい。又、製品の上積みは避けて下さい。

## 5. はぎ合わせ

天地マークは製品の裏面に入っています。方向違いに貼り合わせないように、ご注意下さい。

## 6 ジョイント&端部施工

両耳をスリット加工しておりますので、突きつけ施工して下さい。

硬いガラスビーズを使用しておりますので 重ね切りは出来ません。

耳と耳で追って貼り合わせ、寸法調整は壁面の端部で行ってください。

上下及び端部のカットは、金属へら等で抑えながら、厚手のカッターで強めに切断してください。

## 7 ローラーがけ

ジョイント部はウレタン製の広幅ローラーを用いて丁寧にローラーがけを行って下さい。

(金属ローラーは表面を傷め、ガラスビーズの光沢がなくなる恐れがありますので使用しないで下さい。)

ローラーを強くかけたり、表面を強くこすらないで下さい。粒子が取れたり光沢が変わったりします。

表面に糊が付着した場合は、速やかに濡れ雑巾等で、叩く様にふき取って下さい。変色の原因となります。

**遠目から確認して、裏面にガラスビーズが入っている場合は、壁紙をめくって取り除いてください。**

**裏面にガラスビーズが残った場合は、あて布をあて、上から軽くたたいてください。**

(石膏ボード下地のみ、完全乾燥前のみ。目立たないところで試してから、作業を行ってください。)

## 8. 養生

施工後は接着剤が安定するまで自然乾燥させて下さい。

ハガレ、目隙等の原因になりますので、冷暖房等による急激な温度(環境)変化は避けてください。

## 9. 連絡先

商品の欠陥、その他お気づきの点がございましたら弊社までご一報ください。

富士工業株式会社 東京事務所

〒105-0014 東京都港区芝2-3-25 NIKIビル3F

TEL: 03-3452-4560 FAX: 03-3452-4561

E-MAIL: info@accent-wall.com

URL: http://www.ACCENT-WALL.com

※緊急連絡先 野村 090-2599-9097 大澤 090-1028-8390